

このたびは、当社商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、末永くご愛用くださいますようお願いいたします。**お読みになった後は、大切に保管してください。**

安全上のご注意（必ずお守りください）

本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用いただくために、特に注意していただくことを表示してあります。取り付けの前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

■ 使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

警告 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

注意 製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

⊘ 製品の取り扱いにおいて、その行為を「禁止」する内容です。

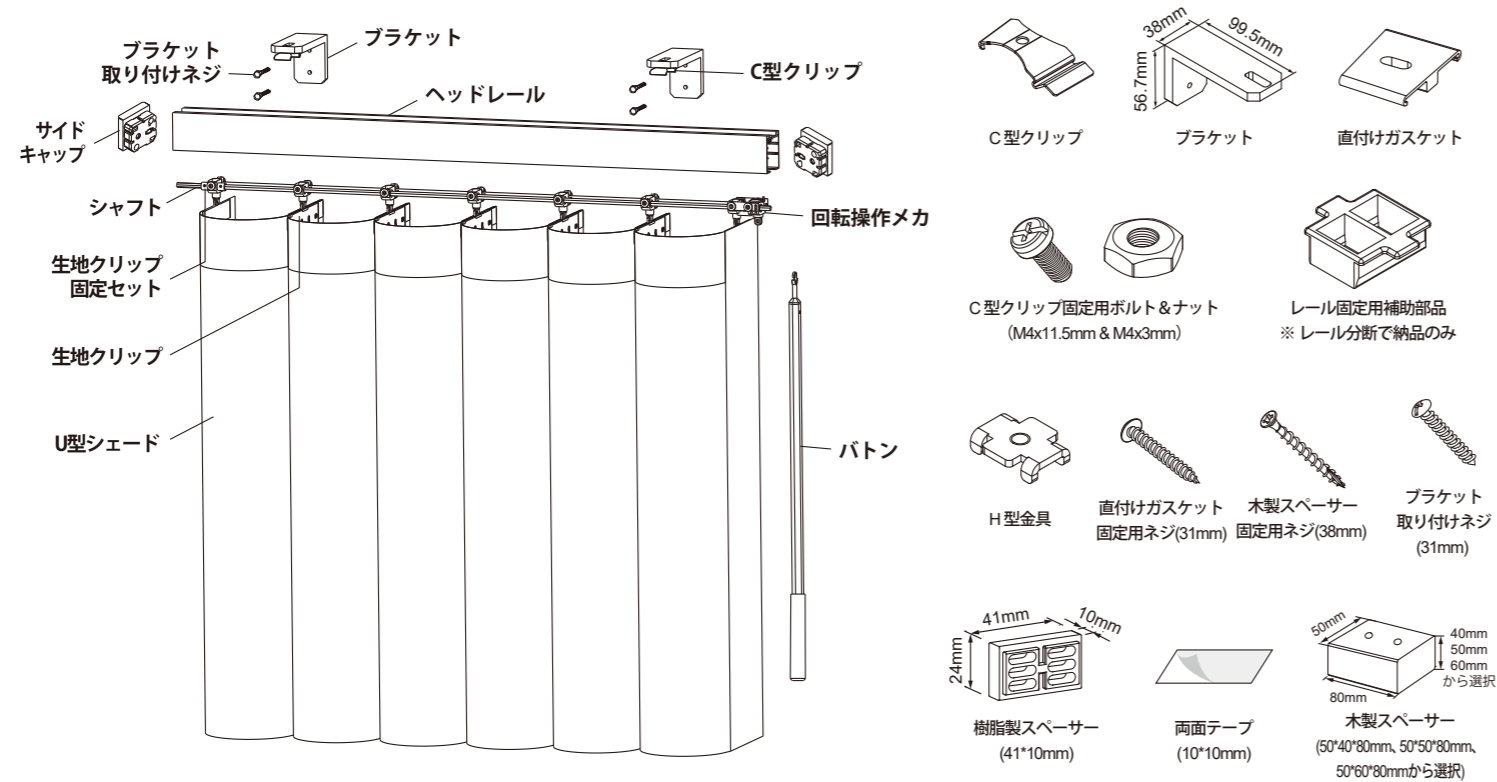
⊕ 製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する内容です。

■ 取り付け上のご注意（取り付け前に必ずお読みください）

警告 ⊘ 付属のブラケット取り付けネジは木部用です。木部以外の下地（石膏ボード等）には使用しないでください。
⊕ 本書に記載されているブラケット取り付け数量と取り付け位置は必ずお守りください。本体が落下し、ケガをしたり物を破損する恐れがあります。

警告 ⊘ お子様をバトン等で遊ばせないでください。
● バトン等が首や体に巻き付くなどして事故を招く恐れがありますのでご注意ください。
● 無理な操作や乱暴な取り扱い、絶対におやめください。製品が破損したり、落下する恐れがあり、ケガや物を破損する原因となります。
● 製品に物を吊り下げたり、ぶら下らないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあり、ケガや物を破損する原因となります。

製品全体図及び部品名称、付属部品



付属部品の数量

【壁面付けの場合】

製品幅(W)mm	C型クリップ	ブラケット	C型クリップ固定用ナット(M4*3mm)	C型クリップ固定用ボルト(M4*11.5mm)	ブラケット取り付けネジ(31mm)※2※3	樹脂製スペーサー(41*10mm)※1	両面テープ(10*10mm)
W≤2032	2	2	2	2	4	2	6+スペーサー数
2033≤W	3	3	3	3	6	3	9+スペーサー数

- ※1 上記樹脂製スペーサーの数量は1連の場合で、2連、3連の場合は、樹脂製スペーサーの数量はC型クリップ数×スペーサー連数になります。ご指定のない場合（標準）、樹脂製スペーサーは付属しません。樹脂製スペーサーが必要な時は漏れが無いよう、注文内容に十分ご注意ください。
- ※2 ネジは木部用です。木部以外の下地（石膏ボード等）には使用できません。
- ※3 通常は31mmのネジが付属します。壁面付けでブラケットスペーサー1連使用の場合は38mm、2連は51mm、3連は63.5mmのネジが付属します。
- ※4 上記付属部品はヘッドレールが1本の時の数です。ヘッドレール長さがジョイント仕様の場合、それぞれヘッドレールが分割された長さをもって付属部品が入ります。

【窓枠天井付け・カーテンボックスの場合】 木製スペーサー・樹脂製スペーサーはカーテンボックス付け時のオプションです。

製品幅(W)mm	直付けガasket	直付けガasket固定用ネジ(31mm)※4	木製スペーサー(50*40*80mm、50*50*80mm、50*60*80mmから選択)※1※2	木製スペーサー固定用ネジ(38mm)※3	樹脂製スペーサー(41*10mm)※1※2	両面テープ(10*10mm)
W≤2032	2	2	2	4	2	スペーサー有：スペーサー数分
2033≤W	3	3	3	6	3	スペーサー無：直付けガasket数分

- ※1 指定のない場合（標準）、木製スペーサー・樹脂製スペーサーは付属しません。必要の際には、注文時あらかじめお知らせください。
- ※2 カーテンボックスの深さに応じて、木製スペーサー40mm/50mm/60mm、樹脂製スペーサー1〜3連からお選びいただけます。
- ※3 木製スペーサーネジは木部用です。木部下地以外（石膏ボード等）には使用できません。
- ※4 通常は31mmのネジが付属します。カーテンボックス付けでブラケットスペーサー1連使用の場合は38mm、2連は51mm、3連は63.5mmのネジが付属します。
- ※5 上記付属部品はヘッドレールが1本の時の数です。ヘッドレール長さがジョイント仕様の場合、それぞれヘッドレールが分割された長さをもって付属部品が入ります。

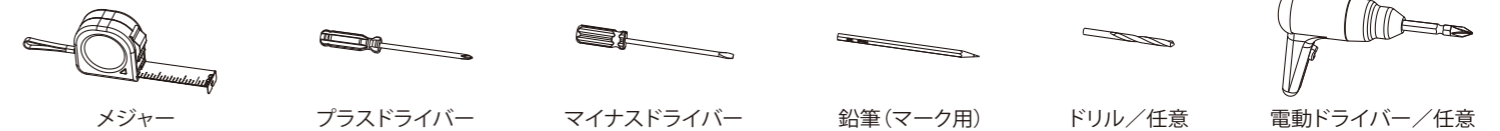
【カーテンレール付け（カーテンボックス内）場合】

製品幅(W)mm	C型クリップ	H型金具	C型クリップ固定用ボルト(M4*11.5mm)
W≤2032	2	2	2
2033≤W	3	3	3

※ 上記付属部品はヘッドレールが1本の時の数です。ヘッドレール長さがジョイント仕様の場合、それぞれヘッドレールが分割された長さをもって付属部品が入ります。

取り付け手順

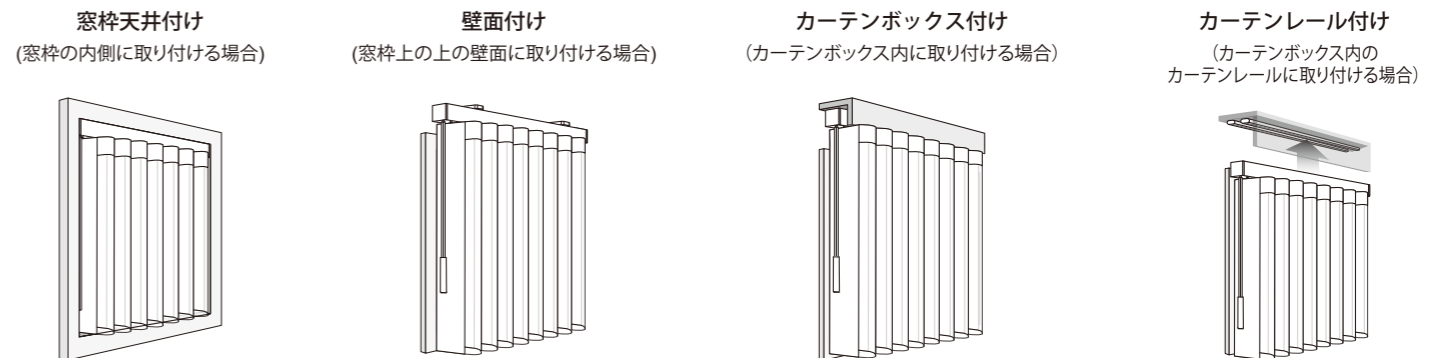
取り付けの際にまず下記の道具をご用意下さい



取り付け手順は次の順になります。

- ① 外箱の状態を確認します → ② ヘッドレール外箱を開梱し、説明書と保証書を取り出します → ③ 説明書を参照し、同梱付属品の数を確認します → ④ 説明書の手順に従いヘッドレールの梱包を外し、バトンの結束を解いた後に取り付けます。バトンは稼働域外に動かさないようご注意ください。（両バトンを選択した場合のみ片方の取り付けが必要です）
- ⑤ 生地外箱を開梱します → ⑥ 上から一つずつ開封し、左から順にレール取り付けてください（ロールが2列で梱包されている場合、[A]が先順です）

1 取り付け種類

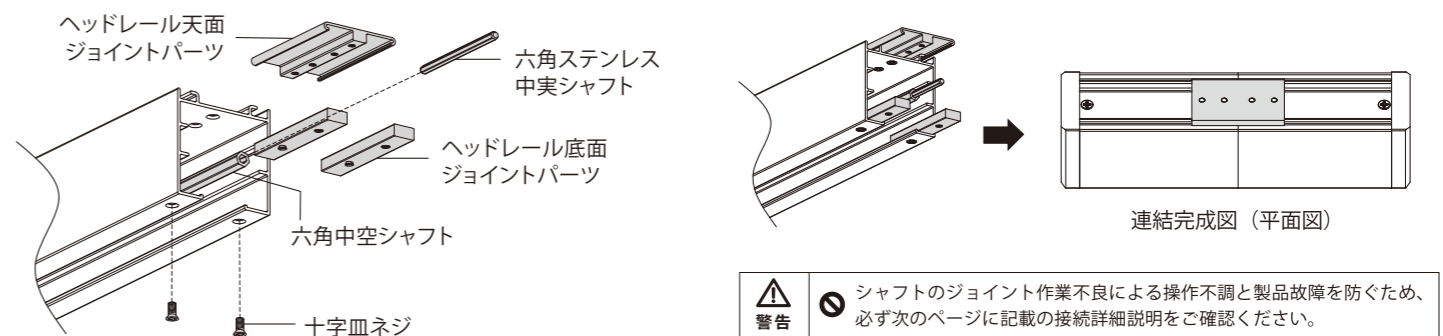


2 ヘッドレールのジョイント手順

注意 ジョイント連結作業が完了するまでは、絶対にスライダを操作したりシャフトの回転操作を行わないでください。故障の原因になります。

■ ヘッドレールのジョイント仕様

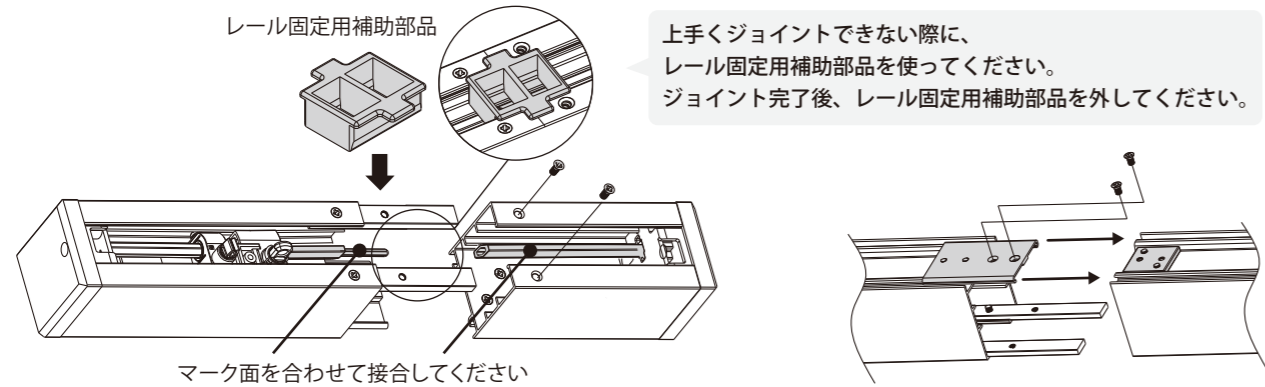
製品幅サイズが2400mmを超えるものは連結仕様で製造し、ヘッドレールは分割状態で納品されます。



警告 ⊘ シャフトのジョイント作業不良による操作不調と製品故障を防ぐため、必ず次のページに記載の接続詳細説明をご確認ください。

■ 六角ステンレス中実シャフトの接続は正しい位置に。

シャフト上に差し込み側と受け側の両方にマークが付されています。必ずマークに併せて連結を行ってください。



■ (※レールが3つ以上のツージョイント仕様の場合のみ) 3つ以上のヘッドレールを連結する場合は、各ヘッドレール上部に向き表記シールが貼り付けてあります。

- ・矢印と室内側は、指示しているレール方向が室内側に来ることを示しています。
- ・シールの英文字は同じ英文字端部同士で接続をすることを示しています。



※製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

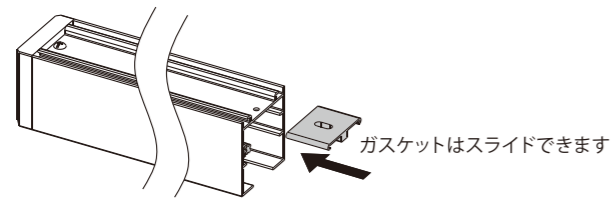
3 ヘッドレール設置部品の取り付け

窓枠天井付け(窓枠の内側に取り付け)

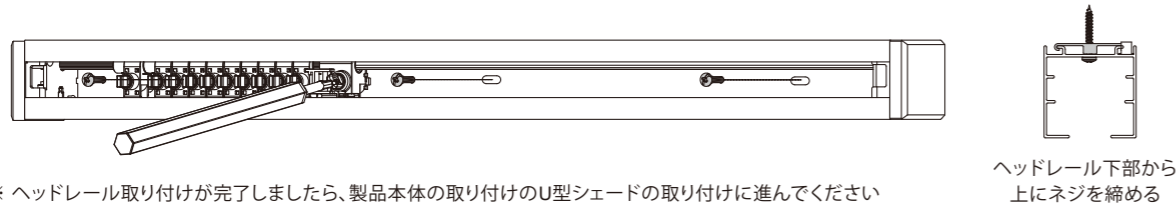
① ヘッドレールの開梱、バトン取り出し

ヘッドレールの梱包を取り外し、バトンの結束をほどきます。ヘッドレール内の梱包材をすべて取り除いてください。

※ バトンはランナーとつながっております。可動域外に動かさないようにご注意ください。工場出荷時にあらかじめヘッドレールに取り付けている、直付けガasketの位置を確認します。



③ ヘッドレール下部から覗き、図のようにパーツの干渉がないネジ穴からネジを締めていきます。その後、パーツをスライドし、残ったネジ穴を締めます。



※ ヘッドレール取り付けが完了しましたら、製品本体の取り付けのU型シェードの取り付けに進んでください
※製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

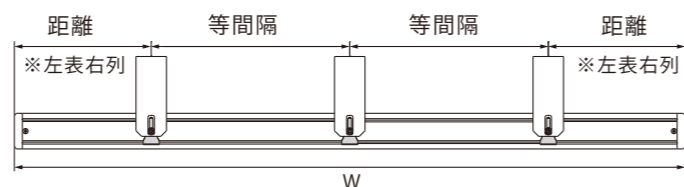
④ U型シェードの取り付け ⑤ U型シェードの取り付け をご確認ください。

壁面付け(窓枠上の壁面に取り付ける場合)

① ブラケット 設置位置を確認

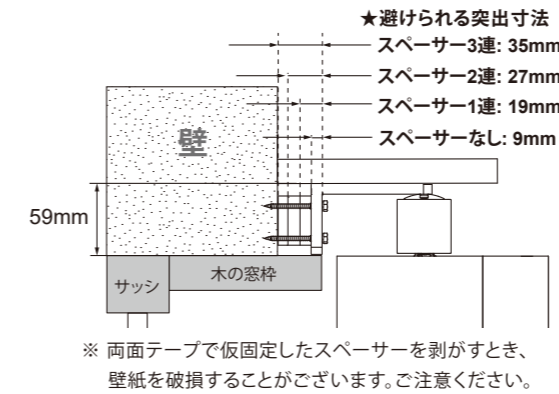
ヘッドレールを実際に設置する位置に合わせ、ヘッドレール両端の位置を確認しましょう。ブラケットを表内の設置位置の規定によって設置します。ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が均等になるように配置してください。

製品幅(mm)	ヘッドレール両端部からの距離(mm)
~ 1016	102
1017 ~	203



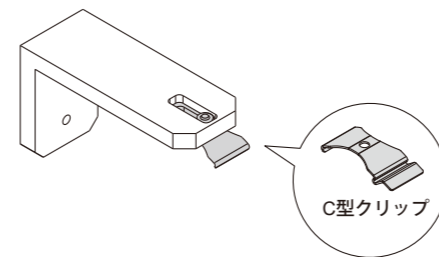
② 樹脂製スペーサーの仮止め(壁面付け、スペーサー使用時のみ)

壁面付けで樹脂製スペーサーを使用するとき、まず取り付け箇所に樹脂製スペーサーを両面テープで仮止めしてください。



④ C型クリップの取り付け

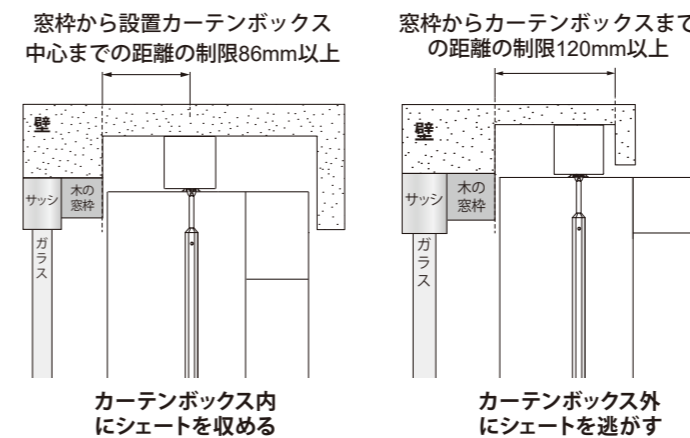
下図の通り、ブラケットにC型クリップをネジで取り付けます。C型クリップの設置位置は前後に若干の調整が可能です。



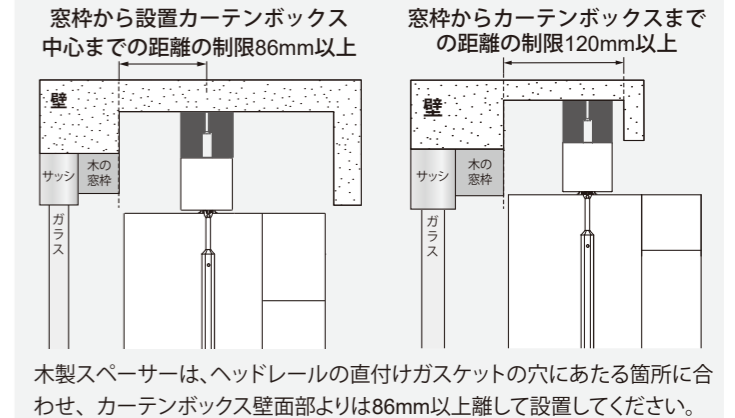
⑥ U型シェードの取り付け ⑤ U型シェードの取り付け をご確認ください。

カーテンボックス付け(カーテンボックス天井に取り付ける場合)

【木製スペーサーなしの場合】



【木製スペーサーありの場合】木製スペーサーの取り付け



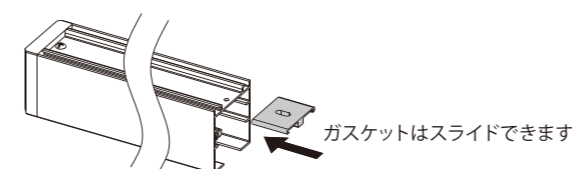
木製スペーサーは、ヘッドレールの直付けガasketの穴にあたる箇所に合わせ、カーテンボックス壁面部よりは86mm以上離して設置してください。

① ヘッドレールの開梱、バトン取り出し

ヘッドレールの梱包を取り外し、バトンの結束をほどきます。ヘッドレール内の梱包材をすべて取り除いてください。

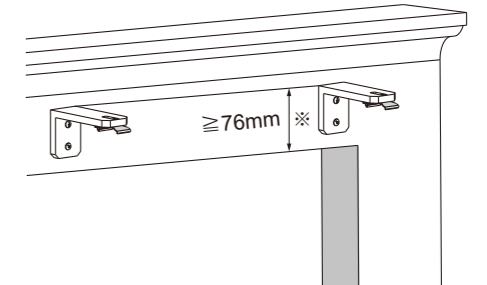
※ バトンはランナーとつながっております。可動域外に動かさないようにご注意ください。

工場出荷時にあらかじめヘッドレールに取り付けている、直付けガasketの位置を確認します。



③ ブラケットの固定 (ブラケットが水平でない場合故障や不具合の原因となります。)

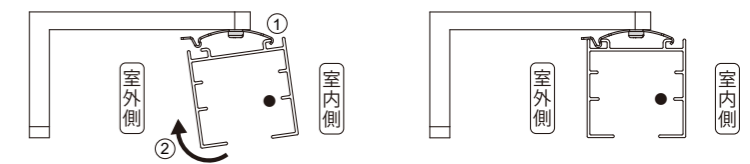
ブラケットは2本のネジで固定します。採寸時と同様の高さ位置に取り付けてください。全てのブラケットは必ず水平に、かつ高さ位置が揃うように注意して取り付けてください。



※ ネジを打ったことによって、壁面が割れることを防ぐ為、最低限必要な高さサイズです。

⑤ ヘッドレールの取り付け

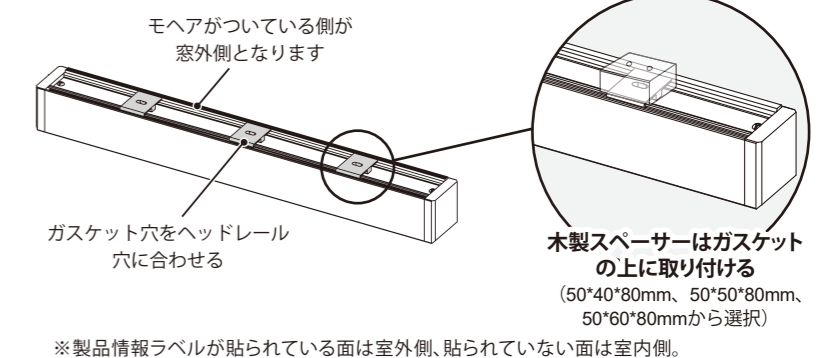
ヘッドレール室内側のツメをC型クリップ手前にかけて①、ヘッドレール奥のツメがC型クリップ奥側に噛み合わせるよう下から上に向けて回転させます②カチッと音がするまで押し込んでください。



※製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

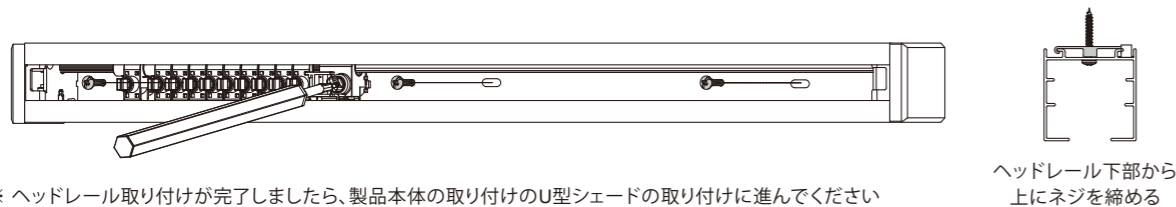
⚠ ヘッドレールの前後にご確認ください
シャフトが配置されている側(図中●)が室内側です。

② モヘアがついている側を室外側とし、ガスケットの穴をヘッドレール穴に合わせるよう調整します。



※製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

③ ヘッドレール下部から覗き、図のようにパーツの干渉がないネジ穴からネジを締めていきます。その後、パーツをスライドし、残ったネジ穴を締めます。



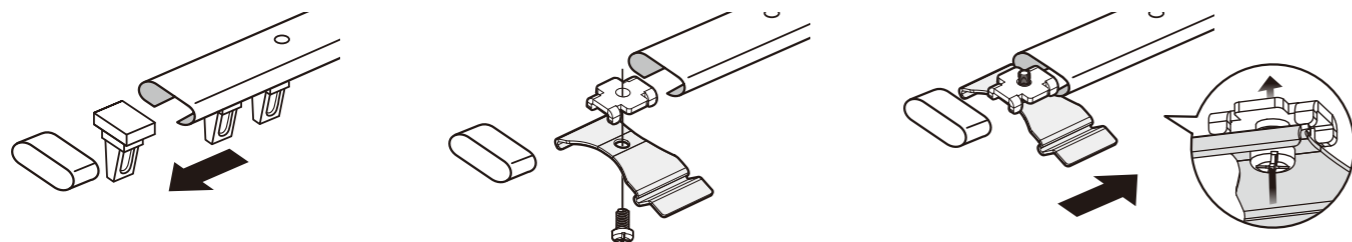
※ ヘッドレール取り付けが完了しましたら、製品本体の取り付けのU型シェードの取り付けに進んでください

④ U型シェードの取り付け ⑤ U型シェードの取り付け をご確認ください。

カーテンレール付け(カーテンボックス内)

① H型金具の仮固定

C型クリップとカーテンレール設置用H型金具を合わせ、ネジで仮止めします。仮止めしたC型クリップとH型金具と一緒にカーテンレールの端からスライドさせます。カーテンレール内にH型金具を挿入するため、この時点ではネジを締めすぎないようにご注意ください。



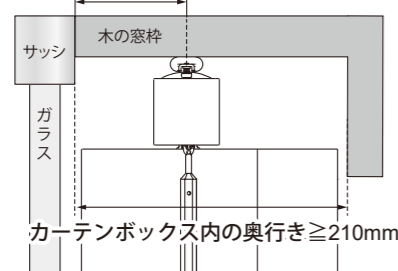
カーテンレールからランナーを外します ▶ ネジを仮止めします ▶ 隙間を利用しレールにスライドさせます

② 取り付け位置の確認

ヘッドレールを実際に設置する位置に合わせて、ヘッドレール両端の位置を確認しましょう。設置間隔は壁面付けのブラケットの規定と同様。C型クリップの穴中心が壁面からは86mm以上離れるように設置してください。

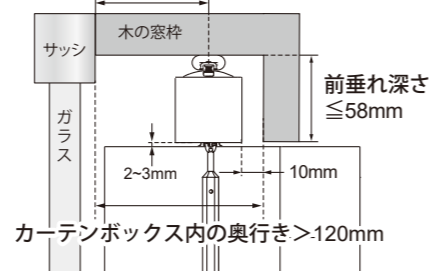
カーテンボックス内にシェードを収める

窓枠から設置カーテンレール中心までの距離の制限86mm以上



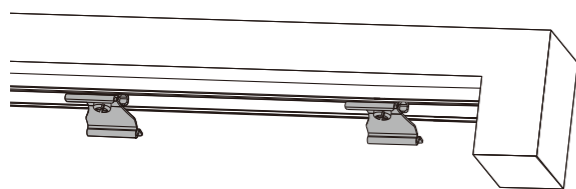
カーテンボックス外にシェードを逃がす

窓枠から設置カーテンレール中心までの距離の制限86mm以上



③ C型クリップの取り付け

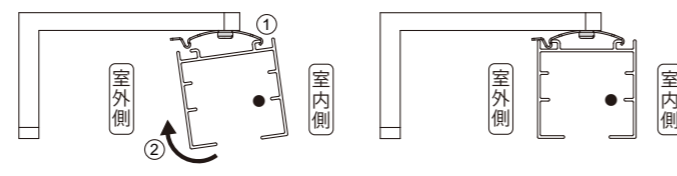
C型クリップをカーテンレールブラケットとずらして専用ボルトで固定します。複数のクリップが壁面に対し垂直・平行な直線を描くよう、設置位置に十分ご注意ください。



※画像はイメージです。実際のC型クリップの数量は、ジョイント仕様の場合それぞれ分割されたヘッドレールの長さに対して付属されます。

④ ヘッドレールの取り付け

ヘッドレール室内側のツメをC型クリップ手前かけ①、ヘッドレール奥のツメがC型クリップ奥側に噛み合せるよう下から上に向けて回転させます②カチッと音がするまで押し込んでください。



※製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

△ヘッドレールの前後にご確認ください シャフトが配置されている側(図中●)が室内側です。

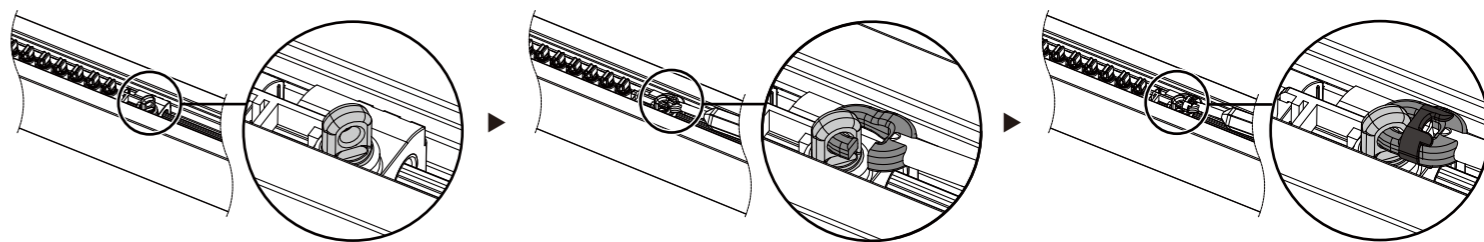
⑤ U型シェードの取り付け ⑤ U型シェードの取り付け をご確認ください。

4 バトンの取り付け(両ボタンを選択した場合のみ片方の取り付けが必要です) ※オプション

① 操作部リングを45度に調整します。

② バトンを引っかけます。

③ バトンを固定する留め具を取り付けます。

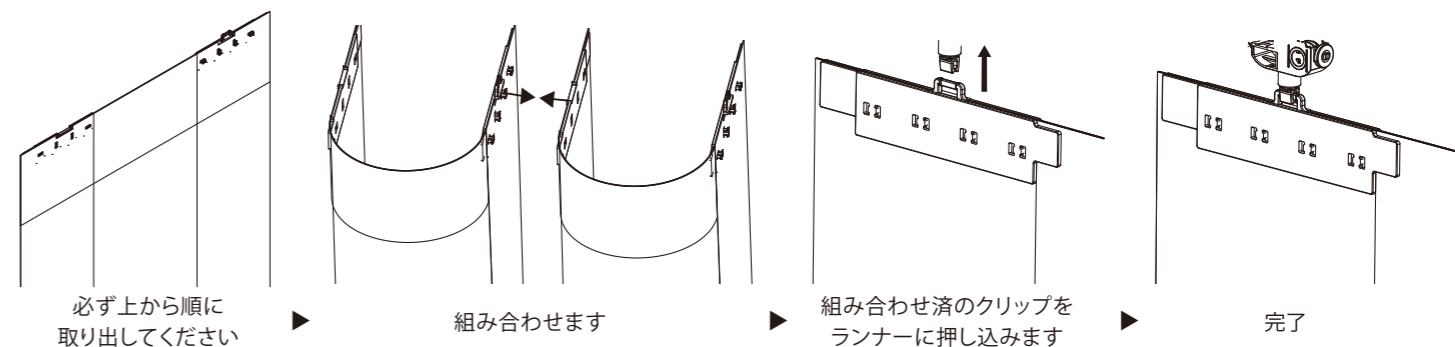


5 U型シェードの取り付け ※U型シェードは取り付け順に梱包されています。下記手順をよくお読みの上開梱には十分ご注意ください。

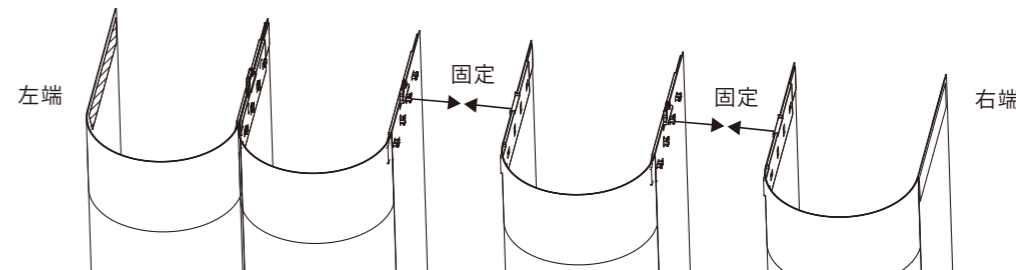
① U型シェードを一つ、梱包から取り出して広げます。

② U型シェードは上から一つずつ順番に取り出して、取り付けてください。2列ある場合、ロール梱包側面に表示されている"Roll No:A"が先順です。

③ U型シェードはレール左側から順に取り付けます。まずU型シェード1枚目の上部にあるクリップ(左)を、ヘッドレール左端のランナーに取り付けます。



④ クリップには2つの仕様があり、左右両端に設置されるのは穴なし、そのほかは穴付きの仕様です。図のように先にかけた生地の右側クリップと次の生地左側で固定し、次のランナーに取り付けます。

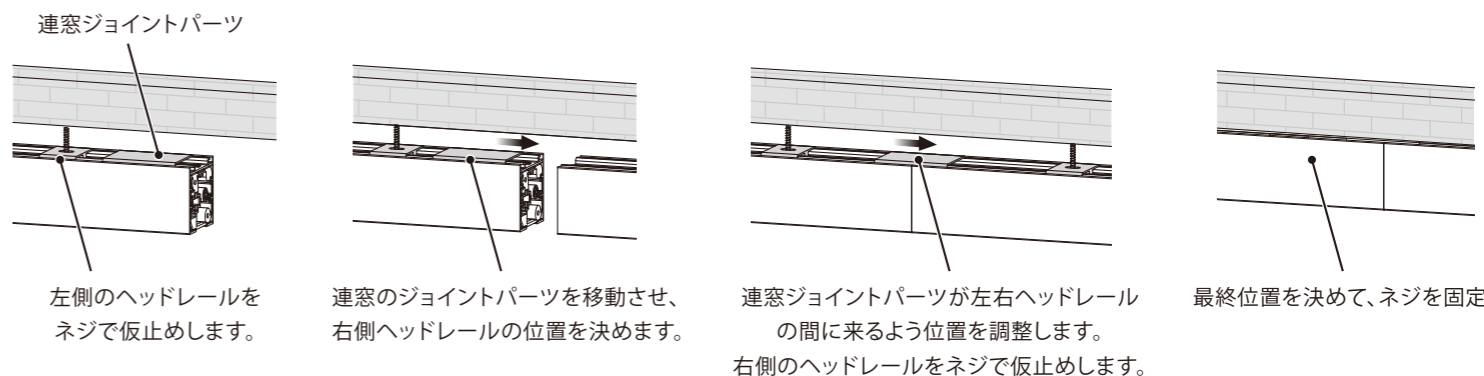


⑤ 5-1~5-4を繰り返し、右端のランナーまで全ての生地を組み合わせ設置し、作業完了です。

連窓接合部の取り付け

連窓のヘッドレール接合の取り付け方法は、製品の取り付け方法により違いがあります。

窓枠天井付け・カーテンボックス付け

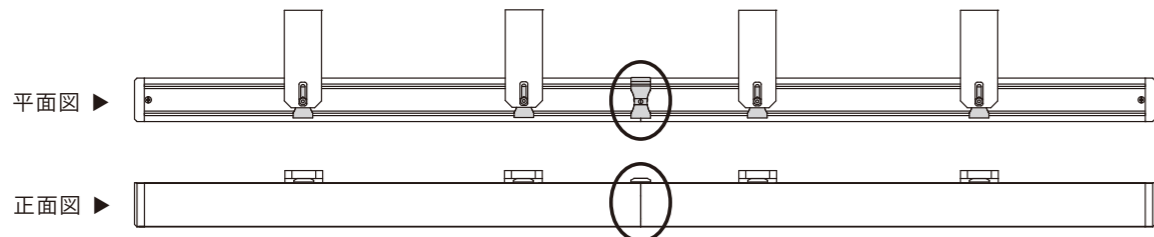


※製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

壁面付け・カーテンレール付け

取り付けは単窓スタイルと原則同様ですが、接合部分はC型クリップ(レール固定具)で2台のシェードを連結します。

- 壁面付の場合下図のようになります。
- カーテンレール付の場合はブラケットを除いた外観になります。

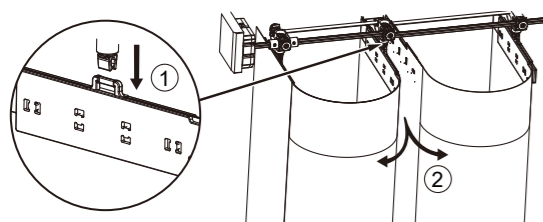


※製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

取り外し方法

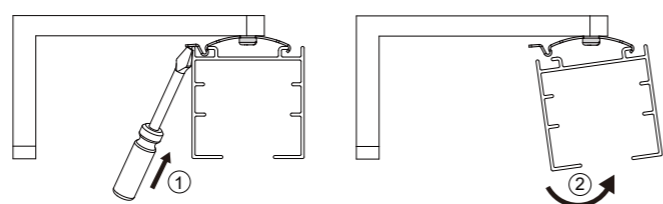
① U型シェードの取り外し

クリップを摘み、ランナーから垂直に下に引いて①、クリップを両側から外します②。



② ヘッドレールの取り外し

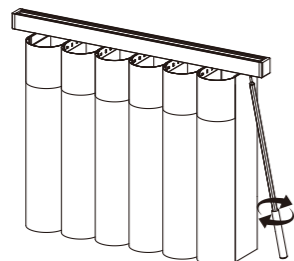
下図①の要領でマイナスドライバーをブラケットのツメの隙間に差し込みつつ、②の方向にヘッドレールを回転させるとツメから外れ、製品をブラケットから取り出すことができます。



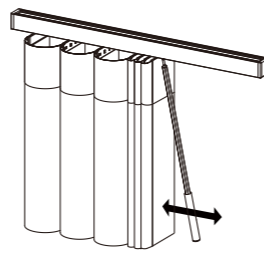
操作方法

シェードを収めたり、広げたりする際には、レース正面開口(生地がU型)状態で行ってください。

① バトンをひねりU型が正面に向くように調整してください。



② 左寄せを例にした場合:バトンを握り、左上に押す要領で収めます。バトンを握り右下にひく要領で広げます。操作中にバトンをひねりしないでください。故障の原因となります。



③ シェード全閉時の調整(単窓・連窓共通)

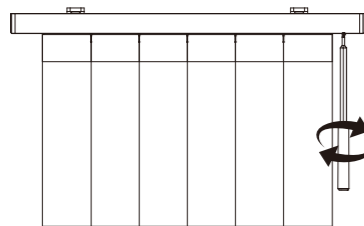
バトンをひねるとシェードが回転します。お好みの遮光レベルに調整してください。

例えば単窓スタイル、左寄せの場合、バトンを時計回りに回しシェードを傾けきると、バトンがシェードの表側に収まります。

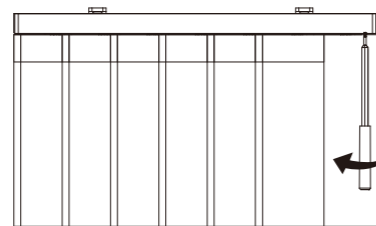
反時計回りに回したらバトンがU型シェードの裏に収まります。右寄せの場合は、左寄せとは動きと収まりが逆となります。

連窓スタイルの場合は、バトンが常にU型シェードの内側に収まった状態です。シェードを完全に展開していない状況(全閉ではない)

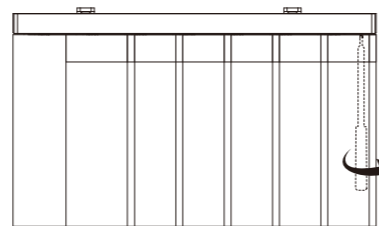
でバトンの開閉操作を行った場合、構造設計上、完全に遮蔽U型シェードを閉めることはできません。



▲ 凡例単窓・左寄せ



▲ バトンがU型シェードの表



▲ バトンがU型シェードの裏

④ シェードの向き異常について

シェードの角度が揃わないときの対処法

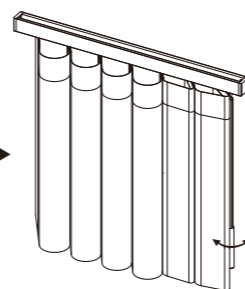
これは故障ではなく、製品操作時の干渉など回転機構部の停止位置にバラつきが生じた際に起こります。

下記手順で戻に元す事が可能です。図のような左寄せの製品で閉合不良がある場合、一度バトンを最大限右に回します。正常部のシェードが遮光状態となった状態で、さらにバトンを回します(カチカチ音5~6回が目安です)。

次にバトンを左に回してください。シェード角度のバラつきが解消されます。

右寄せの場合は回転方向を逆にし、上記同様の手順でお試ください。

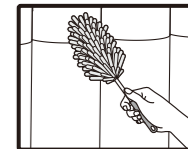
バトンを垂直に回してください



お手入れ方法

■ 普段のお手入れ

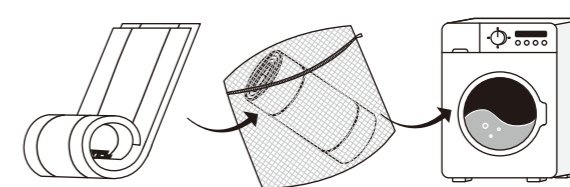
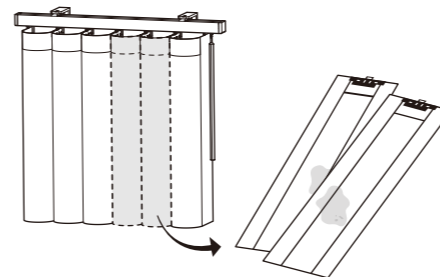
ハンドモップなどを用いて、こまめにほこりを落とすことを心がけてください。NORMAN®スマートドレープシェードには防汚加工処理が施されているので、毎日のお掃除の際にほこりを除去しているだけでも長く美しいドレープを保つことができます。



■ 洗濯するときは(※1)

1. 洗濯が必要なU型シェードをランナーから取り外します。

2. U型シェードをクリップ端より丸めて、クリップが内側に入るように折りたたみ。シェード1枚につき1つの洗濯ネットを使い洗濯機に入れます。



液温は30度を限度とし、洗濯機の弱水流または弱い手洗いで洗ってください。

3. 30度までの水で、洗濯機のおしゃれ着用洗濯モードまたは弱水流、もしくは手洗いで洗ってください。

基本的に洗剤の使用はお勧めしませんが、特に汚れがひどい場合は市販のおしゃれ着用中性洗剤を使用し、弱水流モードでの洗濯が可能です。

4. 脱水はしないでください。U型シェードを取り出し、水が滴らないようまでタオル等で水気をとりす。

5. 水が滴らなくなったら、再度レールに取り付けます。しわが生じないように、U型シェードを展開させ吊り下げた状態で自然乾燥させます。(※2)

※1 洗濯により生地へ施された防汚機能が低下することがあります。どうしても洗濯が必要な場合を除き、「普段のお手入れ」をこまめにさせていただくことをお勧めいたします。

※2 ドライヤーの低温モードの風を当てることにより、より短時間で乾かすことができます。

※3 シェードは90~120℃程度のスチームアイロンをかけることも可能です。



公式サイトで洗濯動画を公開しています!

免責事項

生地(シェード)に生じる自然現象についてご理解ください

極端な環境下での使用は、生地に伸縮や損傷を生じる可能性がございますので、あらかじめご理解の上ご購入いただけますようお願いいたします。

■ 色変化について:

日照時間やその内容によっては、色見に変化が生じる可能性がございます。紫外線の影響で生地に色褪せが生じることがございます。一般的には、生地が重なる箇所では日差しの影響が少なく、直射光を受ける生地と比較して色褪せが遅くなります。生地のパターンや色は、ロットによって差異が生じることがございます。同部屋で使用する製品は同時期の発注を推奨いたします。

■ しわについて:

洗濯後または長期間の輸送によって生地にしわが生じることがございます。多くの場合はレールに懸架し数日経過すると解消されます。アイロン(低温スチームモード)で解消することもできます。

■ 生地を洗濯すると出荷時の防汚処理性能が低下します。製品の美しいイメージを長く保つために毎日こまめにお手入れいただくことをお勧めいたします。

■ 生地のパターンや色味は、ロットにより極僅かに差異が生じることがございます。同色または同部屋で使用する製品はできるだけまとめてご注文ください。

■ レース開口時、室外側のシェード背端が直線に揃わないことがあります。

■ 生地の特性または環境の影響などにより、シェード下部において必ずしも美しいU型を維持することはできません。

また、室内側生地先端(または室外側生地背端)の並びが直線状に揃わないことがあります。製品高さに比例して起きやすい現象です。

■ 連窓スタイルにて全閉遮光時、接合部分の遮光効果が他部分と比較すると若干劣ります。

■ 輸送の影響により、生地にしわが生じることがございますが製品品質を損なうものではありません。

しわ部分は低温・スチームのアイロンなどで整えてください。生地を洗濯すると裏地が若干綻び、めくれが生じることがございます。その際も、低温・スチームのアイロンなどで整えてください。

■ 自然現象でシェード最上部にほつれが生じる可能性がございます。ハサミなどでほつれをカットしていただいても問題ございません。

梱包材の処理方法

■ 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処理してください。

■ 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

メンテナンスシールについて

■ お買い上げいただいた製品情報はメンテナンスシールに記載しております。製品に関するお問い合わせはメンテナンスシールをご確認ください。

ノーマンジャパン株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-23-15 A-PLACE 代々木3階

お客様サービス窓口: 0120-051-507 (お問い合わせ時間: 平日9時30分~18時)

ホームページアドレス:

<http://www.norman.co.jp>